

讃岐うどんの歴史を未来へ 30年の研究を一冊に

「最後はうどんが終わるとは思いませんでした」と諏訪さんは笑います。国鉄マンから製麺・うどん店事業会社の社長、さぬきうどん研究会会長まで。歩み続けた「うどん人生」の集大成が、この一冊です。

きっかけは、各地で講演を重ねるうちに、資料が積み上がってきたこと。「しゃべるだけではいかん。後の人たちのためにちゃんと残しておかな」。業界や研究会に関わって約30年の知見を本にまとめる作業に着手しました。

最大の苦労は資料集め。讃岐うどんのルーツ

香川県伝統の食文化 「讃岐うどん」の継承と発展

諏訪 輝生(すわ てるお)さん

を探ると、文献が驚くほど少ない。それでも、昭和期以前の大規模食生活調査記録「さぬき味の風土記」に記されたうどん食習慣の記録をひも解くなど、丹念な作業を続けました。

なぜ讃岐うどんは全国一になったのか、うどん食文化の歴史、風土や産物…と内容はまさに「讃岐うどん総論」。「小麦、だし、手打ち、製麺機械…と、それぞれに専門家がいて、それぞれが深いのが讃岐うどん。その概要をまとめた。次の世代の人たちがこの本を参考に、新しい本を書いてくれたらうれしい」と期待を寄せます。

香川県伝統の食文化
「讃岐うどん」の継承と発展

2月20日発売
美巧社
2200円

讃岐うどんのルーツや歴史、食文化、製麺技術までを網羅。長年の研究成果を基に、「なぜ讃岐うどんは全国ブランドになったのか」をひもとく入門書。

著者PROFILE

1947年高松市生まれ。国鉄、JR四国を経て、讃岐うどん店「めりけんや」代表取締役社長を務める。さぬきうどん研究会会長などを歴任し、現在は同顧問。著書に「七転び八起き さぬきうどんや奮戦記」。

